

## 発刊に寄せて



取締役執行役員 技術開発本部長

出川 定男

「IHI技報」は1938年(昭和13年)に創刊され、今年で71年目を迎えました。その間、「石川島技報」、「石川島播磨技報」、「IHI技報」と名称は変わりましたが、一貫して、当社が取り組んできた研究・開発、設計、製造に関わる技術成果を、愚直に発信し続けて参りました。このたび、IHI技報創刊70周年を記念して、当社の基幹製品の過去・現在・未来にわたる技術開発における挑戦の歴史を特集致しました。

第一部では、開発に携わった研究開発者の生の声を通して、これまでの当社の事業の屋台骨を支えてきたロケットエンジン、ジェットエンジン、ボイラ、原子力軽水炉、ガスタービン、LNGタンク、橋梁、シールドマシン、製鉄機械、圧縮機、ターボチャージャ、船舶といった製品がどのようにして生み出されたのかをご紹介します。これらの製品が当社グループの基幹製品になるまでの道のりは平坦ではありませんでしたが、常に困難に立ち向かうエンジニアの強い志があったからこそ、お客様に満足していただける製品への道が切り拓けたのだと確信します。

第二部では、現在から近い将来に向けて、技術開発もしくは製品開発に取り組んでいる状況をご紹介します。GXロケット、ジェットエンジン、CO<sub>2</sub>回収型微粉炭酸素燃焼発電プラント、加圧水型原子炉、インフルエンザワクチン製造プラント、新交通システム、次世代乗捨て型パーキング、電動アシストターボチャージャ、三次元レーザーレーダ、電気推進船等の製品において、更なる発展、新たな展開を目指した開発を進めております。私たちは、先人が残した技術、そしてIHIブランドとIHIスピリッツを次代へ伝え、新たな開発へのチャレンジを続けて参ります。

本号発刊に際して、ノーベル物理学賞を受賞された小柴昌俊先生(平成基礎科学財団理事長、東京大学特別栄誉教授)との対談を企画いたしました。実験科学にひたすら取り組んでこられた先生の信条に触れ、自らの志こそが、困難を乗り越える鍵であることは、基礎研究も製品開発も同じであることを再認識いたしました。

このたびの創刊70周年記念号をご高覧いただき、当社の製品に込められた私たちの志をご理解いただければ幸甚に存じます。読者の皆様には、さらなるご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。